

科目名	二セ医学と疑似科学				
-----	-----------	--	--	--	--

担 当 責任者	木村信也	所属	薬理学	職名	講師
------------	------	----	-----	----	----

到達目標 (アウトカム)	暗黒時代の医学がどのようなものであったか列挙できる。二セ医学にはどのようなものがあるかを列挙できる。二セ医学の誤りや問題点を説明できる。科学的根拠に基づいた医療とはどのようなものか説明できる。
-----------------	--

【1. 授業概要】

- ① 疑似科学とは：一見科学的に見えるが根拠の無い「疑似科学」を列挙して紹介する。血液型性格診断・永久機関・マイナスイオン・波動・EM菌・水からの伝言・神経神話と怪しい脳科学など。
- ② 科学的とはどういうことか：科学的方法（特に仮説の検証方法について）と科学リテラシーについて学。科学と科学でないものの「区別」のしかたを考える。
- ③ 暗黒時代の医療とは：医学の歴史をさかのぼり、「医療」として行われてきた人体に有害な数々の行為を列挙し、それらがどのように改善されてきたかを知ることによって現代医療への知見を深める。
- ④ 二セ医学にはどのようなものがあるか：がん放置療法・ワクチン有害説・ホメオパシー・オーリングテスト・デトックス・サプリメントなど、現代医療、代替医療、健康法における科学的に誤った言説を取り上げ、それらがなぜ「二セ」なのか、何が問題かを考える。
- ⑤ エビデンス：「科学的根拠(エビデンス)に基づいた医療(EBM)」とはどのようなものかを知る。
- ⑥ なぜ騙されるのか：疑似科学や二セ医学を信じてしまう理由、世の中に広まる理由を知る。医療以外のものを試したくなる気持ちを考える。
- ⑦ 疑似科学・二セ医学の問題点：何が問題で、何が問題ではないのかを考える。

【2. 履修学生の心構え】

たんなる知識として疑似科学・二セ医学等を覚えるのではなく、どのような点が疑似で二セなのか判断できるように、常に考えながら受講して下さい。また、毎回数人ずつ指名して簡単な質問に答えてもらったり、知っているかどうか聞いたり、意見を聞いたりします。その際、回答内容の優劣などは問いません。ただ、みんなの前で指名されて回答を発言することが苦手な人は受講を考え直したほうが良いかもしれません。

疑似科学や非合理的なことを信じるのがすべて悪いわけではありません。人は誰も信じたいことを信じるものです。しかし、少なくとも医師が科学を誤用・乱用して健康被害を出したり、通常の医療で救える命を落としたり、無自覚にであっても詐欺的行為に荷担するようなことだけは避けなければなりません。悪意よりも「無知な人の善意」のほうが危険な場合もあります。そのために、疑似科学や二セ医学について、またそれらの問題点について、考えはじめをきっかけにしていただけたいと思います。

【3. 成績の評価方法・基準】

出席（受講態度や積極的参加度など含む）30%、課題への回答30%、試験40%。

【4. 教科書・参考書】

書籍：「科学的思考」のレッスン-戸田山和久（NHK出版）／暮らしのなかの二セ科学-左巻健男（平凡社新書）／医療否定本の嘘-勝俣範之（扶桑社）／医療の歴史-S・パーカー（創元社）／世にも危険な医療の歴史-L・ケインら（文春文庫）／がん「エセ医療」の罠-岩澤倫彦（文春文庫）／医学の歴史ひらめき図鑑-坂井建雄・監修（ナツメ社）／他
Web site：疑似科学を科学的に考える（明治大学のサイト）／『統合医療』情報発信サイト（厚労省）／「健康食品」の安全性・有効性情報（国立健康・栄養研究所）／他

【5. その他 履修要件、履修者へのコメント等】

教科書として書籍を購入する必要はありません。将来医師になったときに科学を誤用・乱用して健康被害を出したくない、無自覚にであっても詐欺的行為に荷担したくない、そう思って、そのために必要な知識と考え方にふれてみたいという気持ちがあれば、受講資格としては十分です。

授 業 計 画【水曜開講分用】

実施日	時 限	講義・実習内容	担 当 教 員		
			氏 名	職 名	所 属
4/23 水	5	疑似科学にはどのようなものがあるか	木村信也	講師	薬理学
4/30 水	5	「科学的」とはどういうことか	木村信也	講師	薬理学
5/7 水	5	暗黒時代の医療	木村信也	講師	薬理学
6/11 水	5	医学の歴史から学ぶ	木村信也	講師	薬理学
6/18 水	5	科学リテラシーとエビデンスに基づいた医療	木村信也	講師	薬理学
6/25 水	5	二セ医学（1）	木村信也	講師	薬理学
7/2 水	5	二セ医学（2）	木村信也	講師	薬理学
7/9 水	5	二セ医学・疑似科学とその問題点を考える	木村信也	講師	薬理学

